

平成30年度 佐賀県立小城高等学校 学校評価結果

1 学校教育目標 2 本年度の重点目標
教育方針
本校の校訓である「創意Originality」「挑戦Challenge」「誠実Integrity」を実践する。

達成度 A:ほぼ達成できた B:概ね達成できた C:やや不十分である D:不十分である

3 目標・評価
① 授業力の向上により、生徒の進路意識を高揚させ、主体的な学習習慣の形成と学力の向上を図り、個に応じた進路保障を実現する。

Table with 7 columns: 領域, 評価項目, 評価の観点(具体的評価項目), 具体的目標, 具体的方策, 達成度, 成果と課題(左記の理由), 具体的な改善策・向上策. Rows include 職員の資質向上, 1学年の目標達成, 2学年の目標達成, 3学年の目標達成, 学力向上, 教育活動, 部活動や地域への社会貢献活動.

② 部活動や地域への社会貢献活動に積極的に挑戦し、マナーを身に付け、ルールを遵守する態度を養い、責任ある行動がとれる習慣をつける。

Table with 7 columns: 領域, 評価項目, 評価の観点(具体的評価項目), 具体的目標, 具体的方策, 達成度, 成果と課題(左記の理由), 具体的な改善策・向上策. Rows include 部活動の振興, 安全防災教育, 地域・社会貢献.

③ 授業・学校行事等への積極的参加により、心身のバランスのとれた発達を促し、問題解決への意欲・態度・能力を育み、豊かな人間関係を築く。

Table with 7 columns: 領域, 評価項目, 評価の観点(具体的評価項目), 具体的目標, 具体的方策, 達成度, 成果と課題(左記の理由), 具体的な改善策・向上策. Rows include キャリア教育の推進, 心の教育, いじめ問題への対応, 健康・体づくり.

④ 地域社会と連携協働し、開かれた明るい学校、信頼される学校をつくる。

Table with 7 columns: 領域, 評価項目, 評価の観点(具体的評価項目), 具体的目標, 具体的方策, 達成度, 成果と課題(左記の理由), 具体的な改善策・向上策. Rows include 学校経営方針, 開かれた学校づくり, 業務改善・教職員の働き方改革の推進.

4 本年度のまとめ・次年度の取組

- ① 保護者に対する「教育活動アンケート」から、本校の教育活動には概ね肯定的な評価を得ている。現在の教育改革期において、次年度以降も取組を充実させ保護者・生徒・地域から信頼される学校づくりを推進していく。
② 本校生徒の大多数は、4年制大学をはじめとする上級学校への進学を希望している。来年度から2年間、本校は「学力向上」研究指定校として授業改善とキャリア・カウンセリングの視点を取り入れた対話的キャリア教育の更なる充実に取り組むこととしている。単なる合格実績の向上のみならず、ICT活用を通じた授業の創造、豊かな学習時間の時間を生み出す効果的な指導、個に応じた学習活動の充実により生徒の「生きる力」の育成を図っていく。
③ 教育の第一義である生徒の安全安心な学校生活の確保のために、教育相談の更なる充実を図る必要がある。今年度から独立校務分掌として教育相談部を設置し、スクールソーシャルワーカーや特別支援教育スーパーバイザー等、外部機関と積極的に連携しながら個別の事案に対し、迅速且つ適切な取組を実践することができた。次年度は多様な生徒の指導・支援にきめ細やかな対応を推進していく。
④ 「文武一途」を実現するために、学習活動とともに部活動や生徒会活動等を充実させ、生徒の全人格的人間形成を図っていく。特に、部活動については教職員の「働き方改革」を踏まえ効果的な指導を実践し最大限の教育効果があげられるよう、指導体制の充実にも努めている。
⑤ 来年度からの1学年級を踏まえ、教職員の共通理解・共通実践のもと、様々な活動に対する生徒の主体的な態度を育成しながら本校の教育諸活動の成果を地域・保護者にPRすることで、生徒募集を含め信頼される学校づくりを一層推進していく。

●は共通評価項目、○は独自評価項目